

授業実践講座 社会科教育

ねらい 地域素材を生かし、「主体的・対話的で深い学び」につながる社会科教育の在り方について研修する。

期 日 令和5年10月24日（火）午後

会 場 空知教育センター

講 師 福井 雄也 氏 （岩見沢市立光陵中学校 教諭）

鹿糠 昌弘 氏 （美唄市立美唄中学校 教頭）

講座の様子



鹿糠氏からは、北の産業革命「炭鉄港」の実践報告がされ、地域素材を活用する意義などに触れていました。



福井氏からは、授業で児童生徒が疑問や関心をもてるよう、資料提示や発問などの工夫について触れられていました。



受講者の交流場面では、日々の授業における成功体験や課題などについて報告が行われていました。



講師による模擬授業では進化問題を取り組む場面を想定し、深く学ぶ意義について確認することができました。

受講後アンケートより

- 授業を進めるうえで、実践で生かせそうな取組・活動や指導方法がたくさんありました。
- 美唄の炭鉱にかかわる内容や社会科教育について、新たな知見を獲得することができました。
- 授業では目的を明確にして、進めていくことが大切であることに気づきました。